

平成27年度 栃木県公立小中学校事務研究大会

平成27年12月4日(金)、栃木県教育会館にて栃木県公立小中学校事務研究大会が開催されました。大会テーマを「創造しよう！子どもの豊かな育ちを支援する学校事務を」、サブテーマを「協働から広がる子どもの学び… 思いを形に！」とし、活気のある大会となりました。



開会式には、栃木県教育委員会をはじめ、多くのご来賓の皆様に出席を賜りました。その後、表彰式では、とちぎ教育賞を今年度受賞されました3名の方の表彰式が行われました。



休憩を挟み、今大会のねらいについてオリエンテーションが行われました。

私たち事務職員も学校に勤める教職員として、教育内容についての理解を深め、様々な人たちとの協働を通じた子どもの学びづくりに参画していく必要があります。そこで今大会では、専門性を活かしつつ、様々な人の「思い」を形にし、学びの充実に積極的に参画する事務職員の在り方と役割、チームや組織で仕事をしていく協働の大切さと、そこから広がる子どもの学びについて考え、明日からの実践へと繋いで欲しいと説明がありました。

次に、那須地区小中学校事務職員研究会（那事研）の地区発表が行われました。「温故知新 そして学校事務の未来につなぐ」－那須の絆、フロンティアスピリット、人材育成支援－を発表テーマで行われました。

前半は那須地区や市町事務研の活動、これまでの研修、研究の概要と人材育成に関する

アンケートやワークショップの内容、那須地区の事務職員の目指す姿、その姿に近づくために組織として何をすればよいかなど、人材育成支援について新たな取り組みについて報告を頂きました。

後半は、組織で取り組む人材育成支援を柱にパネルディスカッションが行われました。会場から他市の人材育成について活動内容を聞いたり、カードを使って会場全体の意見を聞いたり、世代交代に伴う知識や経験の引継ぎ、これからの人材育成支援の在り方について、会場全体で考える場となりました。また、パネリストとして登壇して



くださった西那須野中学校の菊池紀男校長先生からは、共同実施の充実や経営参画への期待など事務職員への温かで力強いエールをいただきました。

昼食を挟んだ午後、全体研究会Ⅰでは、「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の実現に向けて」ー過去・現在そして未来へつなげる中期研究計画ーと題して、栃事研会長より説明がありました。

栃事研の諸活動の指針であり、組織の全体活動計画である中期研究計画と、とちぎの教育づくりを積極的に推進する学校事務の基本的方向、目指すべき学校事務や事務職員像を示した「とちぎ学校事務ビジョン」について、これまでの活動の振り返りやこれからの方向性、ねらいや目的などについての情報を、会員の皆様と共有することができました。



全体研究会Ⅱでは前橋工科大学教授 小林 清 氏より「学校経営参画における大切な視点ーアクティブラーニングを通して新たな気づきの発見ー」についての講演と演習が行われました。演習を通して、事務職員としてのアイデンティティや、職種間で異なるマネジメント観の差異と協働の大切さについて、考えさせられる研修となりました。

最後に小林氏から、生まれ育った環境に左右されず、全ての子どもたち夢と希望をもって成長していける学校や社会を作る使命を持って、夢と希望が溢れるような学校を作って欲しいと話され、終了しました。

